

青年技術士交流委員会 公開講演会

「技術士による知的書評合戦ビブリオバトル」

青年技術士交流委員会では、例年目玉イベントの一つとして、技術士の知名度向上や一般の方々との交流を目的とした公開型講演会を行っています。

今年は、平成 30 年 12 月 15 日(土)に「技術士による知的書評合戦ビブリオバトル」を開催致しましたので、その内容をご報告致します。

1. 公開講演会の概要

～技術士による知的書評合戦ビブリオバトル～

ビブリオバトルは、誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションイベントです。

本講演会では、科学技術の専門家である技術士が発表者として集い、一般聴講者へ向けて自分がこれまでに読んで面白いと思った本、お薦めしたい本等を 1 人 5 分の持ち時間で紹介しました。

●日時：平成 30 年 12 月 15 日(土)13:00～15:30

●場所：紀伊國屋書店札幌本店 1 階

インナーガーデン(札幌市中央区北 5 条西 5 丁目 7 番地 sapporo55 ビル)

●発表者参加人数：16 名

●第 1 部：予選会 13:00～14:00

●第 2 部：決勝戦(公開講演)14:30～15:30

2. 予選会の報告

第 1 部の予選会は、A～D の 4 グループ(4 名/グループ)に分かれて行われ、各グループでは決勝進出の 1 名をかけ、白熱するバトルが繰り広げられました。

筆者も発表者の 1 人として参加させて頂きましたので、他のグループの発表内容を聞けなかったのが心残りではありましたが、同グループの発表者と共に本について熱く語り合い、楽しませて頂きました。

た。

他のグループでも、参加する上では仕事と同じように常に真剣に向き合う技術士の面々、数々の名シーンが生まれたことと思います。

また、発表者の紹介する本については、会場入口にパネル展示をしたことで、紀伊國屋書店にご来店されたお客様が足を止め、興味深く見入ってくれる場面も見受けられました。



写真-1 ビブリオバトル予選会の様子

3. 決勝戦の報告

第 2 部の決勝戦は、予選会で勝ち残った 4 名が登壇し、公開型講演として一般聴講者へ向けた本の紹介が行われました。

発表者の 4 名は、予選会で発表された内容や構成に変化をつけ、各自工夫をされていたようで、5 分という短い時間の中でも一般聴講者にわかりやすく、惹きつけるような発表だったと思います。

各発表後には、数分間にわたり一般聴講者やコメンテーターからの質問を交えたディスカッションタイムがありました。ここでも、発表者一人一人がわかりやすく、丁寧に、時には笑いを誘いながら解説されており、技術士としてのプレゼンテーション力

の高さが垣間見える瞬間だったと思います。

決勝戦の最後には、発表者4名の中から投票により「チャンプ本」を決めるルールの中で、見事最多票・高評価を得た松田技術士が優勝を飾りました。

ここで、決勝戦で発表された本を以下に紹介します。いずれも興味深い内容となっていますので、手に取って読まれてみてはいかがでしょうか。



写真-2 統括本部から参戦し優勝を飾った松田技術士



写真-3 決勝戦でビジネス書を熱弁する木本技術士



写真-4 最強の勉強術について語る小澤技術士



写真-5 北海道の歴史・楽しさをアピールする西村技術士

- ・ Aグループ勝者：松田技術士(統括本部) ※優勝
～『はかりきれない世界の単位』
- ・ Bグループ勝者：木本技術士(当委員会幹事)
～『組織を守り強くなるNo.2の指南書』
- ・ Cグループ勝者：小澤技術士(当委員会幹事)
～『10年後に生き残る最強の勉強術』
- ・ Dグループ勝者：西村技術士(当委員会副委員長)
～『地図で楽しむすごい北海道』

4. 終わりに

当委員会における今年最後のイベントである公開講演会を無事に終わることが出来ました。参加された技術士の皆さんは、幅広い年齢層でありましたが、お互いを尊重し称え、プレゼンテーションスキルを磨く良い機会になったと思います。

また、全国各地で開催されているビブリアバトルの中でも技術士から発信される本の紹介は新鮮であり、技術士の知名度向上や一般の方々との交流としては非常に良いアピールとなったものと思います。次回も多くの方々に聴講して頂ける公開講演会となるよう工夫を凝らしていければと思います。

北海道本部の青年技術士交流委員会では、メンバーと共に楽しみながら、今後もますます人とのつながりを大切にし、科学技術と地域との橋渡し役として活動をしていければと思います。